

プロフィール



所在地	東京都町田市
氏名	市川 健一
活動名称	障がい児スポーツ教室
こんな活動です	学齢から18歳以下の障がいのある子供等の余暇活動を支援する教室
連携している団体等	行政（保健・福祉部局）

活動分野	スポーツ
主な対象	学齢から18歳以下の障がいのある子供等

活動の説明

①活動内容	<p>原則として、毎週、土曜日の午後に体育館とプールの2箇所で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・体育館（市立） ウォーキング・ランニング、巧技台、トランポリン、マット運動、バスケットボール、バレーボール、なわとび等を1時間半程度実施 ・プール（市立） 水泳の練習及び水遊び等を1時間半程度実施
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者 149名（平成29年7月10日現在）体育館91名、プール58名 ○ 指導員 有償ボランティア指導員55名程度。教室の企画・運営・指導を行う。 ○ 親の会 参加者の保護者。教室運営に協力する。
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「障がい児スポーツ教室」は、参加者の生活リズム作り、健康作り、仲間作り、生きがいの場作りと社会性の向上に寄与している。 ○ 市立施設を会場として実施することで、地域の人々の障害及び障害者理解の促進に寄与している。 ○ 「障がい児スポーツ教室」の開催が、地域の福祉事業所におけるスポーツプログラムの拡大に繋がっている。 ○ 「障がい児スポーツ教室」は、高校生、大学生、市民等のボランティア養成の活動拠点となっている。 ○ 「障がい児スポーツ教室」は、参加者の保護者同士の情報交換等の場となっている。 ○ 学齢期から成人期という長いライフステージにおいて、スポーツのある生活の在り方を考えていくことが今後必要だと考えている。

活動の様子

	
体育館での活動の様子	プールでの活動の様子

プロフィール

所在地	千葉県船橋市
氏名	松本 芳信
活動名称	すみだ教室
こんな活動です	義務教育終了後の知的障害者が、社会生活のルールやエチケット、仕事に対する心構えを学ぶとともに、スポーツ・文化活動等をととした仲間づくり、余暇を有効に利用するための機会の提供
連携している団体等	スポーツ団体、行政（教育委員会）、地域活動団体（横貳睦）

活動分野	学習
主な対象	義務教育終了後の知的障害者

活動の説明

①活動内容	<p>【すみだ教室の概要】</p> <p>義務教育終了後の知的障害者が社会生活のルールやエチケット・仕事をする時の心構え等を学び、スポーツ・文化活動等を通した仲間作り、余暇の有効利用の場となることを目指し、開設された。</p> <p>主な活動には、班活動（物づくり等）・クラブ活動（スポーツ、音楽、お花、パソコン、クッキング、絵手紙、カラオケ）や、社会見学、宿泊研修（1泊2日）、他区との合同レクリエーション大会、もちつき会、忘年会、新年会等があり、年19回活動している。</p> <p>【すみだ教室における活動】</p> <p>第7回すみだ教室（昭和45年度）から、平成11年から平成14年の3年間を除く43年間、本事業に携わる。平成18年からは、教室の管理責任者として、①宿泊研修や地域でのもちつき会等行事における明確な目標設定、②各部の活動の取りまとめ、③班長会（各部の受講生班長と開会式・閉校式・宿泊研修の進行等についての話し合い）を援助・統率、④受講生が使用するオリジナルテキストの「社会生活のルールやエチケットを学ぶための心構え」の執筆担当を行う。</p> <p>活動日以外にも、新規ボランティアや受講生の面接、宿泊研修の実地踏査、行政・各部の主任講師との次年度の活動計画作り等を行っている。</p>
②活動体制	<p>○ 受講生：年齢により、青年部（19歳から34歳）：2班、成人部（35歳から44歳）：3班、壮年部（45歳以上）：4班</p> <p>○ 講師（平成29年6月1日現在）：各班に2名配置。講師15名、ボランティア18名が活動を支援</p>
③活動の効果等	<p>すみだ教室以外の民間スポーツクラブを受講する人や、自炊に取り組む人など、すみだ教室への参加が他機関での生涯学習のきっかけや生活自立の一助となっている。また、すみだ教室設立時から通い続けている受講生も複数あり、すみだ教室は、地域の障害者の生涯学習機会として位置づいている。</p>

活動の様子



四区青年学級連合レクリエーション大会の様子



宿泊研修の様子

プロフィール

所在地	神奈川県秦野市
団体名	秦野市（たけのこ学級）
活動名称	たけのこ学級
こんな活動です	知的障害者が生涯に渡って学習できる交流学級
連携している団体等	中学校、公民館、大学のボランティアサークル、福祉団体（ボランティア参加）

活動分野	学習
主な対象	知的障害者
団体の規模（団体の場合のみ）	秦野市生涯学習文化振興課員及び障害福祉課から2名、保護者会36名、個人ボランティア11名、団体ボランティア2団体

活動の説明

①活動内容	<p>平成2年に活動を開始し、今年で28年目を迎えます。</p> <p>毎月第3日曜日（8月を除く）に、ボランティア指導者のもと、「スポーツ」「音楽」「手工芸」の3グループにわかれて行うグループ活動を中心に活動しています。</p> <p>「スポーツ」グループではキックベースを簡易化したゲームを行っており、試合を重ねるごとに作戦が立てられるなど、白熱したゲームが展開されています。</p> <p>「音楽」グループでは、手話を学びながら合唱をしたり、一人ずつ好きな曲を舞台上で発表したりしています。発表者以外は曲に合わせてタンバリンなどの楽器でリズムを取り、グループのメンバーみんなで発表者を盛り上げています。</p> <p>「手工芸」グループでは、牛乳パックでの小物入れ作りや、草木染め、クリスマス時期には木の実でのクリスマスツリー作りなど、毎回異なる作品を作成しています。学級生（知的障害者）は作品作りに集中し、思いおもいに仕上げています。</p> <p>グループ活動後は、全員が集まる前で、学級生自らグループごとに成果を発表しています。</p> <p>また、毎年11月には市内中学校において交流会を実施しています。生徒と学級生が一緒になって、合唱やジャンケン列車ゲーム、学級で毎回行っているマイムマイムを歌って踊るなど、楽しく過ごすとともに、相互に理解を深める機会としています。</p> <p>その他、七夕飾り作り、野外活動、クリスマス会、書き初め大会、運動会、料理を学級生とともに作るお楽しみ会など、季節に合わせたイベントを行っています。</p> <p>学級生からは、「楽しかった」「来月もまた来るね」などの声が聞かれ、学級活動に期待感を持つとともに、充実感を得ている様子がうかがえます。</p>
②活動体制	<p>秦野市生涯学習文化振興課及び障害福祉課が合同で企画、運営し、ボランティアや保護者会等との協働により活動しています。</p>
③活動の効果等	<p>学級活動の中では、学級生にリーダーシップが芽生えたり、物事に対する積極性が増していたりする様子が見られます。</p> <p>主な活動場所としている本町公民館では、学級の活動で作った七夕飾りや書き初めを館内に展示し、来館者へ活動を紹介している他、中学校交流会での紹介や、「秦野市社会福祉大会」において成果の展示などを行うことで、知的障害者への理解を深めてもらう契機としています。</p> <p>今後も知的障害者が生涯に渡り学習できる場として、たけのこ学級を開催していきます。</p>

活動の様子

	
グループ活動（音楽）	新春恒例の書き初め大会

プロフィール

所在地	新潟県長岡市
氏名	早川 淳子
活動名称	パソコン・ココの会
こんな活動です	音声パソコン学習会
連携している団体等	社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）

活動分野	学習
主な対象	視覚障害者

活動の説明

①活動内容	<p>パソコン・ココの会は視覚障害者がIT情報社会化に遅れないようにと、平成11年に立ち上げられ学習活動を始めました。</p> <p>現在、毎月第1、第3日曜日に、毎回、視覚障害者10名ほどが集い音声ソフトによるパソコン操作をマンツーマンで学習しています。学習の都度、一人ひとり習いたいことや疑問、パソコンのOS、インストールされている状態を確認し合っています。学習時間に制限はありません。年間、延べ約200名に及んでいます。</p>
②活動体制	<p>長岡市や市社会福祉協議会、地元医療機関、企業、市民からパソコンや音声ソフトの寄贈、当活動についての広報、会場の提供など支援を受けています。</p> <p>ボランティア体制は、会長（視覚障害者）の下、事務局長ほか4名です。</p>
③活動の効果等	<p>最初は文字だけの入力でしたが、メールはもちろんインターネットを使って情報を得るほか視覚障害者の専用図書館HPから本を音声リクエストし、デジジーで聴くことができるようになっています。</p> <p>学習後は、自立と社会参加が促進され日常生活の豊かさが増し喜ばれています。</p> <p>受講者の感想</p> <p>「パソコンは自分には関係ないと思っていたが、文字を使ってメールのやり取りができるようになり本当にうれしい」 女性（62）</p>

活動の様子

<p>社協たよりのご案内に掲載</p>	<p>社協ボラ室にて学習会</p>

プロフィール

所在地	新潟県新潟市	活動分野	学習
団体名	点訳・音声訳の会新潟県連合会	主な対象	視覚障害
活動名称	点字・録音教材の作成協力活動	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 812 名
こんな活動です	加入団体に所属する点訳・音声訳者の養成 視覚障害者団体等が実施する事業への協力 等		
連携している 団体等	社会福祉法人		

活動の説明

①活動内容	<p>新潟県内の視覚障害者（約 5,800 人）が学習に用いる点字・録音教材の作成協力活動をおこなっている。これまでに作成した教材は参考書、試験問題集から実用書まで多岐にわたり、幼児から高齢者まで幅広い年代に提供している。</p> <p>また、点訳・音声訳それぞれで会員同士の研修会がおこなわれているほか、全国団体が実施する指導員講習会に会員を派遣するなど、技術・意識の向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【これまでの資料提供実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> 点訳資料 『合格でる順（社会・英語・国語）』『鍼灸医学大辞典』『ポケット六法平成 28 年度版』『小学 1 年生が習う漢字と書き順』 ほか多数 音声訳資料 『視覚障害者のための ipad 体験会資料』『盲学校高等部専攻科理療科入学学力試験（過去問題）』『都市ガス工業概要（供給編）』 ほか多数 その他の形態の資料 テキストデータ 『社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2017』 ほか多数
②活動体制	<p>県内各地域の点訳 21 団体・音声訳 26 団体で活動している。内容に応じて分担するなど、団体相互に協力し、質の高い学習教材の提供に努めている。</p>
③活動の効果等	<p>高等学校、大学受験のほか、各種試験での合格者を出している。連合会加入団体で相互協力を行うことで、ボランティア空白地域に在住する視覚障害者への支援を可能とし、地域格差を最小限に抑えることができる。</p> <p>今後もより多くの方の希望に沿った支援ができるよう、学習教材作成に必要な知識や技術の取得に努めていきたい。</p>

プロフィール

所在地	富山県富山市
団体名	視覚障害者 IT サポートとやま
活動名称	定例勉強会・特別勉強会
こんな活動です	パソコンを使って、レッツコミュニケーション！
連携している団体等	各種学校、社会教育団体、病院、県眼科医会、盲導犬協会、地方公共団体、公民館、県視覚障害者協会、県視能訓練士会 他

活動分野	学習
主な対象	視覚障害者・晴眼者
団体の規模（団体の場合のみ）	93名

活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 音声ソフトを利用したパソコンの設定や操作、その他情報機器操作等の支援活動を通して、視覚障害者の情報バリアフリーと社会参加・自立のための支援活動を実施している。外出が難しい方へは在宅サポートを実施している。 月1回の定例勉強会、特別勉強会、サポーター研修会を実施している。 月2回の点字触読会を実施し、日常生活でつかえる点字の習得をめざしている。 年3回、県内各地で視覚障害者向け生活便利グッズ展示会を実施し、併せて体験コーナー、相談コーナーを設けて、視覚障害者への支援活動を行っている。 地域の方々を対象に、視覚障害者への支援推進に向けた啓発活動を実施している。 各種学校、社会教育団体、病院、県眼科医会、盲導犬協会、地方公共団体をはじめ、県視覚障害者協会や視覚障害者ケアネットワークとやま、県スマートサイト推進委員会など関連団体と連携し、サービス向上に取り組んでいる。
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> 代表1名、副代表1名、事務局長1名、運営委員15名（会計1名を含む）、会計監査1名を含む、会員93名体制で勉強会、触読会等を実施している。視覚障害者、晴眼者の割合はおおよそ半々である。 晴眼者がサポーター研修会等で学習し、学んだことをもとに定例勉強会で視覚障害者とともに学習活動を行う。
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者のインターネットを利用した情報収集や多くの方とのコミュニケーションづくりは、生活への前向きな姿勢づくりと心のリハビリになっている。 勉強会をはじめ様々な行事等へ参加する機会が増え、視覚障害者の社会参加への意欲が高まっている。 便利グッズ展示会などにより、地域の方々の視覚障害者への理解が深まっている。

活動の様子



地区文化祭での多くの方々に活動紹介 盲導犬も参加



定例勉強会でペアになり学習中

プロフィール


所在地	山梨県南巨摩郡富士川町
氏名	竹内 正直 (ペンネーム 花里 鬼童)
活動名称	身体障害者福祉展、障害者文化展、ふれあい創作活動、第13回全国障害者芸術・文化祭等
こんな活動です	創造的な喜びを芸術に結びつける
連携している団体等	文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人

活動分野
文化
主な対象
身体・知的・精神

活動の説明

①活動内容	<p>竹内氏は身体に障害がありながらも、闘病生活を通じて感じた命の大切さを伝えるため、詩作に精力的に取り組み、花里鬼童として7冊の詩集を執筆している。また、闘病生活や詩作を通して自らと同じく障害がある人々に自己表現の機会を与えたいとの思いを持ち、山梨県身体障害者連合福祉会の一員として知事に働きかけ、「身体障害者福祉展（1969年）」の開催を実現させた。これは身体・知的・精神といった障害の枠を越えた出展者による「障害者文化展」として現在まで続いており、創作活動による障害者の社会参加・自己実現の場となっている。</p> <p>更に、外出の機会が得づらい在宅障害者に芸術文化活動の機会を提供する「ふれあい創作活動（1998年～）」では竹内氏自らが指導者として出向き、在宅障害者が生涯にわたって芸術文化活動に親しむための支援を精力的に行ってきた。</p> <p>この他にも平成25年度に本県で開催した「第13回全国障害者芸術文化祭やまなし大会」の誘致活動とともに大会実行委員会の副会長として尽力し、大会を成功に導いた。また、この大会を一過性のものにならないために「山梨県障害者芸術・文化祭」の創設を知事に要望し開催を実現させ、今年度で4回目の開催になるなど、障害者の自己表現の場として定着しつつある。</p>
②活動体制	<p>県や市町村、障害者福祉施設等、県内の障害福祉関係者と連携を取り、活動を行っている。ふれあい創作活動の指導者養成においては、自ら講演を行うなど、自身の経験や知識を後世に伝えている。</p>
③活動の効果等	<p>指導者として永年にわたる地道な取り組みにより、外出が難しい重度の障害者が作品等を出展できる環境を作り、生涯学習への意識高揚を図ることができた。活動は在宅・施設入所の枠を超え全県下に普及し、才能を有しながらも世に出るチャンスがなかった者の紹介にも積極的に取り組んでいる。</p>

活動の様子

	
ふれあい創作活動指導者研修で講演する竹内氏	障害者文化展の審査会にてあいさつする竹内氏

プロフィール

所在地	長野県松本市	活動分野	学習
団体名	松本養護学校同窓会「あすなる会」	主な対象	知的障がい
活動名称	同窓会館設立、同窓生を対象とした進路・悩みごと相談等	団体の規模（団体の場合のみ）	事務局（常任理事）9名、 会員数 668名
こんな活動です	地域で豊かに生活するために、同窓生を支えます		
連携している団体等	特別支援学校、PTA、NPO法人、社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）		

活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会館設立（平成7年） ・同窓会館内にレスパイトサービスを行う「療育支援センターあいむ」を設置（平成13年） ・同窓会館西側に共同作業所（現NPO法人就労支援センター）ホープを建設（平成15年） ・同窓会館内に在校生の放課後等の余暇活動を支援する「まつようクラブ」を設立（平成20年） <p>その他、以下の取組を継続して実施</p> <p>同窓生を対象とした進路、悩み事相談 「同窓会だより」の発行（年2回） 「同窓生のつどい」開催（年1回 200名以上の参加） 日帰りバス旅行（時に1泊2日旅行、2泊3日旅行も。年間で100名参加） 余暇活動事業（フライングディスク、ボウリング、フロアホッケー、旅行、ダンス、カラオケ同好会）</p>
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会役員組織；会長1名 副会長3名 理事若干名、監事2名 顧問若干名。 ・余暇活動指導員を、同窓生家族や元学校職員、地域ボランティアに依頼。 ・学校、PTAとの連携強化のために、同窓会役員に多くの学校職員、PTA役員を指名。 ・松本市手をつなぐ育成会とともに松本市との懇談会を毎年実施。
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成7年に同校敷地横に同窓会館設立以降、20年以上に渡り継続して在校生と同窓生への支援を実施しており、地域の障害者支援施設の中心となっている。特に余暇活動事業は、卒業生にとって社会参加のきっかけの一つとして位置づいており、楽しいイベントになっている。

活動の様子



平成29年度 同窓生の集い アトラクション



平成29年度 日帰りバス旅行 戸隠そば打ち体験

プロフィール


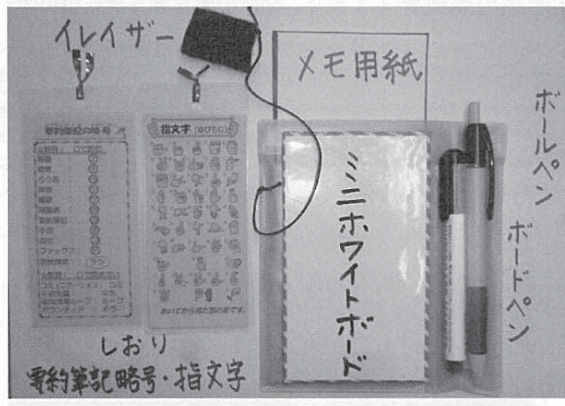
所在地	岐阜県羽島郡笠松町
氏名	毛利 静香
活動名称	文字でにこにこコミュニケーション
こんな活動です	手作り筆談グッズで、いつでもどこでも誰とでも文字でコミュニケーション
連携している団体等	NPO 法人

活動分野
学習
主な対象
聴覚障害

活動の説明

①活動内容	<p>筆談グッズ「にこにこコミグッズ」は、カバンの中に入れて持ち歩けるコンパクト・サイズで、材料も百円均一ショップで手に入る安価なもので手作りしています。</p> <p>筆談グッズを無償もしくは材料費だけで広く配布することにより、誰もが、いつでも、どこでも、聴覚に障がいのある方々と、簡易に文字でコミュニケーションをとることができます。</p> <p>コミュニケーションを簡易にすることで、高齢による難聴や聴覚に障がいのある方々が、より広く学びの機会に出会えるよう応援しています。</p>
②活動体制	<p>「(特非)ぎふ難聴者協会」及び「(特非)ぎふ要約筆記かがり火」の行事やイベント、関連催事等において配布しています。</p>
③活動の効果等	<p>県内外問わず、また、聴覚に障がいのある方だけでなく、広く配布することで、高齢者の難聴や聴覚障害者の特性と文字でのコミュニケーションへの理解を広めています。</p> <p>近年、障がい福祉の面からだけでなく、人権の関係でも広まりつつあります。</p>

活動の様子

	
<p>ホワイトボードに書いて知らせたりメモ用紙に記録して渡したりします。</p>	<p>にこにこコミグッズの中に入っている物</p>

プロフィール



所在地	愛知県豊橋市
団体名	一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会
活動名称	ふれあいアート展
こんな活動です	ボーダレスなアートの流れを創る
連携している団体等	NPO 法人、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（保健・福祉部局）

活動分野	文化
主な対象	知的障害、発達障害
団体の規模（団体の場合のみ）	会員 5,589 名（知的障害者、保護者、後見人）

活動の説明

①活動内容	<p>平成 20 年度より、会員からアート作品を公募し展示する「ふれあいアート展」を名古屋市内で開催している（平成 29 年度からは、対象を非会員にも拡大）。開始当初から一貫して 200 点前後の作品応募があり、作品のレベルも年々上がっている。公募作品のうち優秀作品には、会期初日の表彰式で「ふれあいアート展大賞」を始め各賞が贈られる。また、会期中には、障害のある人の芸術に関連するトークイベントも開催。</p> <p>平成 22 年度からは、愛知県知的障害者福祉協会と連携して、東三河地域で「ぼくらのアート展」を開催。公募作品とあわせ「ふれあいアート展」の入選作品を展示しており、県内 2 カ所で年 2 回の公募作品展を継続開催している。</p> <p>「ふれあいアート展」は、同協会の各県支部からも注目されており、今年は新たな試みとして、「ふれあいアート展」の入選作品を福井県の協会が主催の作品展に出展する。また、「ふれあいアート展」の経験や知見をいかして、同協会では、愛知県主催の「あいちアール・ブリュット展」（障害のある人の公募作品展）や、平成 28 年に開催された「第 16 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」の運営に参画。さらに、愛知県におけるアートを活用した雇用の取組においても、中心的な役割を担っている。</p>
②活動体制	<p>同協会の文化活動委員会を中心に運営。事務局となる障害者支援施設では、造形活動専任の職員を配置し、アート活動に取り組んでいる。企画運営のアドバイザーや審査員として、芸術の専門家や NPO 法人が参画し、後援（各賞の授与）や広報で、行政、企業等とも連携している。</p>
③活動の効果等	<p>作品の出展・展示が、障害のある人にとって日々の活動の励み、生きがいや自信となるとともに、来場者に作品をご覧いただくことで、障害への理解の促進にもつながる。作品制作、作品展を通して、障害の有無を超えた交流、社会づくりの一助となっている。10 年にわたる「ふれあいアート展」の積み重ねは、愛知県における障害のある人のアート活動の広がり基礎となっただけでなく、就労支援など、福祉や芸術文化の枠を超えて広がっている。</p>

活動の様子

	
展示会場の様子	表彰式の様子

プロフィール

所在地	大阪府八尾市	活動分野	学習
団体名	ＹＹクラブ	主な対象	知的障害
活動名称	ＹＹクラブ	団体の規模（団体の場合のみ）	50名「事務局8名、会員（メンバー）42名」
こんな活動です	体験活動で人生活力UP		
連携している団体等	府立八尾支援学校、八尾市ボランティア協会		

活動の説明

① 活動内容	<p><活動開始の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立養護学校（現支援学校）教員として勤務していた現ＹＹクラブ代表が、知的障がい者の余暇活動が極めて限られたものであることを知り、改善できないものかと考え、平成元年、京都教育大学に内地留学した際に、養護学校卒業生や在校生を対象に余暇活動に関するアンケート調査を行った。調査・研究した知的障がい者の余暇活動の実態について、平成2年9月の日本特殊教育学会第28回大会で発表し、その研究成果をもとに、平成2年から活動を開始して、本年で28年目となる。 ・活動開始当初は、月2、3回の活動から始め、1回は養護学校を会場とし、他は、地域の施設（市民プール、キャンプ場、公園、博物館、ボウリング場、他）を活用していた。 <p><現在></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者の力を借りずに、ＹＹクラブメンバー（知的障がい者）のみで地域の施設を活用して余暇を過ごすことができるようになったことから、全体の活動は月3回から2回へ、そして現在は月1回となった。 ・平成12年、メンバーから一泊旅行がしたいとの要望があがった。支援者から「メンバーで企画してはどうか」と返したところ、2年後には、メンバーが旅行社に行き、企画を策定するまでに至り、現在、年1回の一泊旅行が定着した。 ・現在、月1回日曜日の定例会として、サッカー教室、バスケットボール教室、料理教室、パソコンクラブ、そして一泊二日の旅行（メンバーで企画）、などの活動を行っている。
② 活動体制	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー教室、バスケットボール教室、パソコン教室では、現支援学校教諭や支援学校退職教諭などの支援で活動している。 ・料理教室では、管理栄養士免許を持つ通所介護施設の施設長の方と八尾市ボランティア協会の方に協力いただいている。それぞれの教室で活動後は、料理教室で作られた料理を昼食として、昼食希望者みんなで歓談しながら食べている。
③ 活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に作業所や企業に就労している者や在宅になっている者など、様々な立場の者同士が、定例会で日々の活動や自分自身の思い、苦勞していることや趣味のことなどについて語り合ったり、スポーツや料理など好みの活動に参加することで、心身の健康を維持し、気持ちを発散し、明日への活力を得る場となっている。年1回の一泊二日の旅行は、毎月積み立てをしながら旅行当日を心待ちにするなど、生活のほりともなっている。

活動の様子

		
サッカー教室	一泊旅行	調理と会食

プロフィール

所在地	島根県松江市	活動分野	スポーツ
団体名	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	主な対象	障がい種別全般
活動名称	障がい者のスポーツ活動の振興	団体の規模（団体の場合のみ）	4名 (事務局)
こんな活動です	気軽なスポーツ参加で生涯学習！		
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、社会教育関係団体、スポーツ団体、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（教育委員会、保健・福祉部局）		

活動の説明

①活動内容	<p>(1)「しまねレクリエーション・フェスティバル」の開催 障がいの有無を問わず多くの方がスポーツを通じて交流を図るイベントで、障がい者スポーツやレクリエーションスポーツなどを気軽に体験できる。H28年度は県内2会場で延べ545人が参加した。</p> <p>(2)障がい者スポーツ活動の支援 協会加盟の有無に関わらず幅広く団体・個人が利用できる「障がい者スポーツ活動支援助成金」を通して、地域に根差した障がい者スポーツ活動を支援している。H29年度は24団体が利用した。</p> <p>(3)障がい者アスリートの発掘・強化支援 東京パラリンピックでの活躍を目指すトップアスリートの発掘及び強化支援を行っている。また、パラリンピアンを招いた講演会や競技体験会等を開催し、裾野の拡大に取り組んでいる。</p> <p>(4)県大会の開催と全国大会への選手派遣 毎年県内各地で県障がい者スポーツ大会を開催し、H28年度は11競技に延べ725名が参加した。また、毎年全国障害者スポーツ大会に県選手団を派遣し、H29年度は過去2番目の好成績を収めた。</p>
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> 各競技団体や県障がい者スポーツ指導者協議会、障がい福祉事業所、特別支援学校、県障がい福祉課と緊密に連携しているほか、障がい者スポーツの支援に積極的に取り組むあいおいニッセイ同和損害保険㈱が、H29年10月に県と包括業務提携を締結したことを受け、同社とも連携して活動していく予定。 「しまねレクリエーション・フェスティバル」の開催にあたり、共催団体である県保健体育課、県障がい福祉課、県体育協会及び県レクリエーション協会と定期的に会議を持つ等、緊密な連携を図っている。
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 県唯一の障がい者スポーツを促進する団体として、長年にわたり地域に根差した活動を展開してきたことにより、障がい者スポーツ活動の取り組みの発展と、裾野の拡大につながっている。 障がい者と健常者の垣根を越えたスポーツ交流活動を通して、障がい者の社会参加と理解増進の促進につながっている。

活動の様子

		 <p>第18回島根県障がい者スポーツ大会 アリンギ杯のスポーツ大会を開催しました！ 日時：平成29年6月4日（日） 会場：県立浜山公園陸上競技場</p>	
H29 しまねレクリエーションフェスティバル／本協会強化指定選手		県障がい者スポーツ大会／全国障害者スポーツ大会	

プロフィール

所在地	岡山県加賀郡吉備中央町	活動分野	スポーツ
団体名	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会 組織委員会	主な対象	肢体不自由
活動名称	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会	団体の規模（団体の場合のみ）	パナソニック吉備株式会社 他 14 団体
こんな活動です	車いす選手と一般ランナーが同じフィールドで競いふれあうロードレースです。		
連携している団体等	スポーツ団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（教育委員会、保健・福祉部局、吉備中央町）		

活動の説明

①活動内容	<p>昭和 63 年から継続して、車いす選手と一般ランナーが同じコースを走り、共に競いあうロードレースを開催している。大会を通して、障害のある人もない人もお互いの理解を深め、交流を広げており、健康や体力づくりの面からも大きな貢献をしている。</p> <p>大会運営に当たっては、車いす選手や支援者等からの意見を取り入れ、ユニバーサルな大会運営に心がけている。</p>
②活動体制	<p>構成：岡山県障害者スポーツ協会、吉備高原医療リハビリテーションセンター、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター、国立吉備青少年自然の家、株式会社吉備N C能力開発センター、社会福祉法人吉備の里、きびプラザ会、岡山県身体障害者陸上競技連盟、株式会社吉備高原都市サービス、社会福祉法人ももたろう会、パナソニック吉備株式会社、吉備中央町、吉備中央町教育委員会、吉備中央町体育協会、岡山県</p> <p>共催：株式会社山陽新聞社</p> <p>後援：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、他 30 団体</p> <p>構成団体間で役割を分担し、官民一体となって大会を運営している。大学生等若い人にボランティアとして活動してもらうよう声がけしている。</p>
③活動の効果等	<p>パラリンピック出場者等、国内トップクラスの選手を含む県内外から約 1,500 人の選手（車いす選手約 100 人、一般ランナー約 1,400 人）が参加する大会に成長しており、約 1,200 人の大会ボランティアが地域住民の方々の協力を得ながら大会運営をサポートし、地域全体で大会を盛り上げようという機運にあふれている。</p> <p>今年度は第 30 回目の節目の年であり、今後の活動の継続と更なる発展が期待される。</p>

活動の様子

	
同時に走る車いす選手と一般ランナー	ボランティア等による大会準備

プロフィール

所在地	広島県広島市	活動分野	学習
団体名	東雲親の会青年学級	主な対象	知的障害
活動名称	東雲親の会青年学級（東雲親の会の事業）	団体の規模（団体の場合のみ）	会員約 400 名
こんな活動です	もっと勉強したい！自分たちで創る学びの場！		
連携している団体等	小学校、中学校、特別支援学校、PTA、社会福祉法人、企業・事業所、広島大学		

活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島大学附属東雲中学校特別支援学級の卒業生の卒業後のアフターケアを目的として昭和 45 年に開級し、現在は 10～60 歳代の約 400 名が在籍している。 ○ 障害のある人が豊かな人生を送るための生涯学習という観点から、読み書き、計算、コミュニケーションの取り方等の学習会に加え、充実した余暇活動の場として、スポーツや旅行など、レクリエーション活動も取り入れている。
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月第 3 日曜日に、主に東雲中学校で活動している。 ○ 毎回、約 50 名の幅広い年代の参加がある。特に、運動会や交流発表会では、参加者が 200 名を超えており、とても活気がある。 ○ 年間行事計画、会計、案内ハガキの発送等、全ての学級運営は学級生が行っており、活動内容に応じて保護者、東雲中学校教員、広島大学生ボランティアがサポートしている。 ○ 活動経費は親の会会費と参加者からの実費徴収のみで運営しており、助成金等は活用していない。
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的自立に必要な知識、対人関係、余暇の使い方などを、学校卒業後も学べる場があることで、障害を持った方々がそれぞれのライフステージに応じた活躍が出来るようになってきた。 ○ 幅広い年齢が集い相談する場があることで、学級生や保護者が社会で孤立することを防いでいる。 ○ 年 3 回の行事（進路を語る会、運動会、交流発表会）を東雲小中学校と合同実施しており、参加した在校児童生徒の保護者にとっても「青年学級生から学ぶ場」となっている。 ○ 学びを通して成長する学級生の姿に感銘し、学級生を雇用した企業がある。

活動の様子



学習風景



進路を語る会

プロフィール

所在地	徳島県徳島市
団体名	徳島市水泳協会
活動名称	障がい者スポーツ（水泳）の普及
こんな活動です	43年にわたって、障がい者の水泳教室を開き、指導に当たってきました
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、スポーツ団体、社会福祉法人、行政（教育委員会）

活動分野	スポーツ
主な対象	肢体不自由、知的障がい
団体の規模（団体の場合のみ）	20名

活動の説明

①活動内容	<p>「水泳の普及と指導」、「水泳関係者諸団体の育成と強化」、「水泳振興に関する各種行事の開催」等を目的として昭和43年に結成された当団体は、昭和49年1月に徳島県青少年センターが開館して以降、施設内の温水プールを利用して、月・水・金曜日に身体障がい者の水泳教室を行うほか、地域のスイミングクラブで障がい者の水泳大会を開催してきた。</p> <p>二十数年前から、障がい者の水泳大会の予選会（現ノーマピックススポーツ大会）にて、審判や大会の運営に尽力しており、障がい者スポーツセンターにて、知的障がい者の水泳教室を開いている。また、全国障害者スポーツ大会徳島県出場選手団のコーチとして強化練習の指導に当たっている。</p>
②活動体制	会長，副会長（4名），理事長1名，事務担当者1名，会員約20名
③活動の効果等	障がい者が水泳に取り組む機会を創出し、障がい者スポーツの普及・促進に大きく貢献した。

活動の様子

障がい者水泳教室 1	障がい者水泳教室 2



プロフィール

所在地	徳島県阿南市	活動分野	スポーツ
団体名	徳島県グランドソフトボールクラブ	主な対象	視覚障害
活動名称	徳島県グランドソフトボールクラブ	団体の規模（団体の場合のみ）	所属 19 名
こんな活動です	目指せ！グランドソフトボール全国制覇！！		
連携している団体等	特別支援学校、徳島県視覚障害者連合会、徳島県障がい者スポーツ協会、全日本グランドソフトボール連盟、西日本グランドソフトボール協会		

活動の説明



①活動内容	<p>昭和 25 年 4 月、「盲人野球（現グランドソフトボール）をやりたい！」という強い気持ちで、徳島県立盲学校（現徳島視覚支援学校）の卒業生・理療科教員を中心に、設立されたクラブです。これまで全国身体障害者スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の地区予選を勝ち抜き、21 回出場しました。結果は、3 連覇を含む 9 度の優勝。この大会で 3 連覇しているのは、当クラブだけです。</p> <p>また全日本グランドソフトボール選手権大会では、5 連覇（平成 19 年～23 年）を果たしました。平成 28 年からは「徳島すだち杯グランドソフトボール大会」を主催し、地域のみなさんや他県のチーム関係者と交流・親睦を図っています。現在参加している大会は、下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国障害者スポーツ大会四国地区予選会 ・全日本グランドソフトボール選手権大会 ・西日本グランドソフトボール協会リーグ戦 ・広島折り鶴杯グランドソフトボール大会 ・徳島すだち杯グランドソフトボール大会 など。
②活動体制	<p>監督・主将を中心に、大学生などのボランティアにも参加してもらっています。大学や高等学校、地域に呼びかけ、広くボランティアを募集しています。また徳島県障がい者スポーツ協会や徳島視覚支援学校と連携し、コーチを迎えています。</p>
③活動の効果等	<p>視覚障害者の親睦・交流にとどまらず、県内の大学や高等学校と連携することで、障害者理解の啓発・促進しています。また、徳島視覚支援学校や小学校のグラウンドで「徳島すだち杯グランドソフトボール大会」を実施することで、地域のみなさんと親睦・交流が深まり、相互理解が進んでいるとともに、視覚障害者の積極的な地域参加への意欲向上にもつながっています。</p>

活動の様子

	
試合前に行うエール交換の様子	試合中、徳島県のエースが投球している様子

プロフィール		活動分野
所在地	香川県高松市	学習
団体名	特定非営利活動法人 香川県要約筆記サークルゆうあい	主な対象 聴覚障害者
活動名称	要約筆記者派遣事業及び要約筆記者養成事業、 要約筆記の普及啓発事業	団体の規模（団体の場合のみ）
こんな活動です	健聴者・難聴者の心の架け橋にと「YOU&I」 「友・愛」という意味を込めて・・・「ゆうあい」に。 『話』を『文字』で伝えよう！要約して伝えよう！	約 100 名
連携している 団体等	NPO 法人、行政（保健・福祉部局）	

活動の説明	
①活動内容	<p>○ 要約筆記者派遣事業及び要約筆記者養成事業（県・市町の委託事業）</p> <p>県内各地で行われる聴覚障害者等が参加する各種行事等において、大会主催者等からの依頼を受け要約筆記者を派遣し、ノートテイクなどの要約筆記を実施し、聴覚障害者のコミュニケーションの支援や情報保障を行っている。また、毎年要約筆記者の養成講座を開講し、要約筆記の基礎知識・聴覚障害者の基礎知識など全14回（84時間）の研修を行っている。</p> <p>○ 要約筆記の普及啓発事業</p> <p>毎月例会を持ち、要約筆記の技術の向上を目指して練習会を開催するとともに、要約筆記の研究を行うなどにより、要約筆記者の育成やその資質の向上を図っている。また、毎月、広報誌を発行し、香川県要約筆記サークルゆうあいの活動内容や今後の予定などを広報するほか、毎週「難聴者との交流会」を開く。映画・落語・歌舞伎に字幕を付けるなど、要約筆記の普及活動も行っている。</p> <p>要約筆記の字幕付けの取組例</p> <p>【映画】「折り梅」（平成14年度）、「風の舞」（平成15年度）、「母のいる場所」（平成16年度）</p> <p>【歌舞伎など】 桂文珍字幕寄席（平成12年度）、四国こんぴら歌舞伎（平成15年度）</p>
②活動体制	依頼事業を受ける総合窓口、派遣部、養成講座部、事務局（総務・会計・広報）、監査の体制で運営。
③活動の効果等	<p>○これまでに養成した104名（平成28年度末現在）の要約筆記者の活動により、増加しつつある要約筆記派遣依頼にも対応でき、聴覚障害者の社会参加の促進の一助を担えている。</p> <p>○要約筆記者の資質向上を図ることが、聴覚障害者のよりよい意思疎通に繋がっている。</p> <p>○継続的な広報活動により、要約筆記についての認知度が増している。</p>

活動の様子	
	
耳の日記念講演会	要約筆記者養成講座

プロフィール

所在地	福岡県春日市
団体名	福岡県障がい者スポーツ協会
活動名称	障がい者スポーツの普及・振興
こんな活動です	エンジョイ・スポーツ！
連携している団体等	福岡県、福岡県教育委員会、市町村、特別支援学校、各福祉関係団体、各スポーツ関係団体、各障がい者スポーツクラブ

活動分野	スポーツ
主な対象	身体・知的・精神障害
団体の規模（団体の場合のみ）	事務局 6 名、 会員クラブ 23 団体

活動の説明

① 活動内容	<p>福岡県障がい者スポーツ協会は、主に「福岡県スポーツ推進計画（平成 26 年 3 月策定）」に基づく県事業の受託により活動しています。</p> <p>① 障がいのある人のスポーツ活動の発表機会を提供するため、毎年、身体障がい者体育大会、ときめき（知的障がい者）スポーツ大会等、各種障がい者スポーツ大会を開催しています。</p> <p>② 障がいのある人のスポーツ活動を支援するため、各種用具の貸出しや活動の場づくりとしてスポーツ・レクリエーション教室の企画・運営を行っています。また、障がいの有無に関わらず参加できるパラリンピック競技種目の体験イベントを実施しています。</p> <p>③ 障がい者スポーツを支える指導者の育成事業として、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会やトップコーチ養成研修会を実施しています。</p> <p>④ 障がい者アスリート発掘・育成として、障がい者アスリートの強化測定会や研修会を実施しています。</p> <p>⑤ （公財）日本障がい者スポーツ協会の地域における障がい者スポーツ振興事業として、福岡県における障がい者スポーツ振興事業を実施（H23～27 年度）しました。</p>
② 活動体制	<p>福岡県障がい者スポーツ協会職員 6 名</p> <p>○内訳 事務局長（常務理事）1 名、障がい者スポーツ指導員 4 名（うち嘱託指導員 2 名）、事務員 1 名</p>
③ 活動の効果等	<p>① 障がいのある人に適したスポーツの普及</p> <p>② 障がいある人の心身の健康の維持、体力の増強、残存能力の向上</p> <p>③ 障がいある人の社会参加の促進と社会的更生</p>

活動の様子



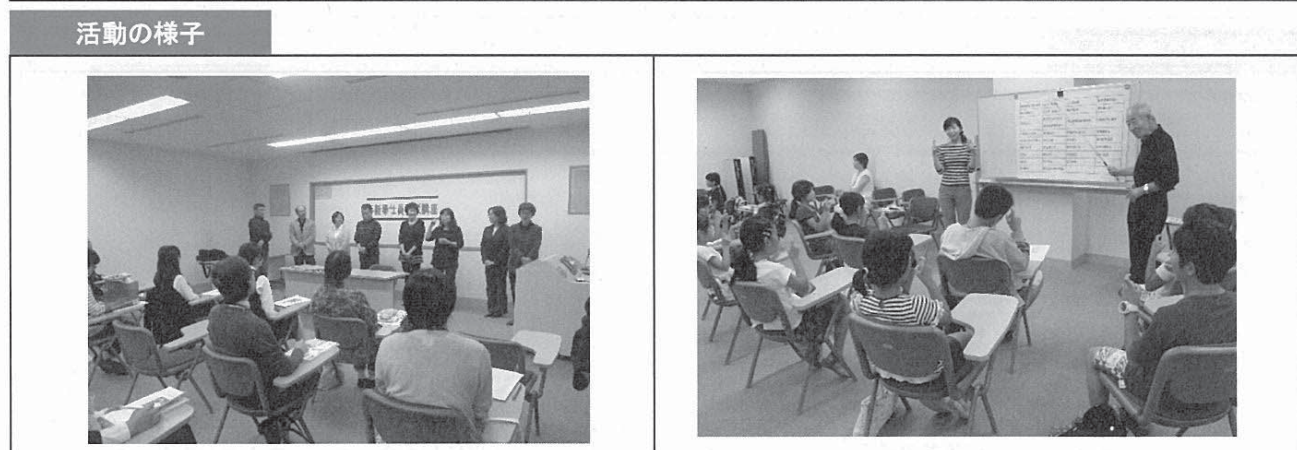
車いすスポーツ教室の様子



パラスポーツ体験イベント（ブラインドサッカー）

プロフィール		活動分野
所在地	福岡県朝倉市	学習
団体名	朝倉市手話の会 愛音の会	主な対象
活動名称	情報保障（手話通訳・要約筆記）等	聴覚障害
こんな活動です	いつも笑顔で謙虚に厚かましく、継続は力なり！	団体の規模（団体の場合のみ）
連携している団体等	社会福祉法人、行政（教育委員会、その他の部局）	37名

活動の説明	
①活動内容	<p>聴覚障がいのある人への理解を深め、情報保障や社会保障の向上を図るために会員の情報保障技術（手話・要約筆記技術）向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話通訳、要約筆記活動（情報保障技術活動） 情報保障技術向上のための学習や聴覚障がいのある人との研修や交流会。 行政や社協からの依頼により各種講演会、情報教室等での情報保障活動。 研修内容： <ul style="list-style-type: none"> 笑いヨガ体験 防災（気象庁ホームページ ワークショップ）等
②活動体制	<p>朝倉市聴覚障がい者福祉協会、朝倉市社会福祉協議会やボラ連の各登録団体と連携をとりながら市民の方が聴覚障がいのある人を理解し、誰もが住みやすい街づくりを実現できるように努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝倉市社会福祉協議会の福祉ボランティア団体として登録。 朝倉市ボランティア連絡協議会（ボラ連）に登録。 朝倉市福祉事務所に専任手話通訳者（手話の会から推薦）として1名設置。 手話班（昼の部、夜の部）、要約筆記班に分かれ、聴覚障がいのある人の情報保障活動の実施。 手話・要約筆記技術の向上に努めるため、定例会にて勉強会の実施。
③活動の効果等	<p>研修（定例会）を毎週開催、また、講演会等での情報保障を行う事により、情報障がい者ともいわれる聴覚障がいのある人が、手話による学びができ、情報取得ができています。</p> <p>家庭・会社・地域で手話が通じ、聴覚障がいのある人が思う存分、手話で話すことが出来る場ともなっている。</p>



プロフィール



所在地	佐賀県佐賀市
氏名	飯盛 清彦
活動名称	視覚障害のあるマラソンランナー（柳川春己氏）の伴走
こんな活動です	夢を追い、共に走る
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、公民館、PTA

活動分野
スポーツ
主な対象
視覚障害

活動の説明

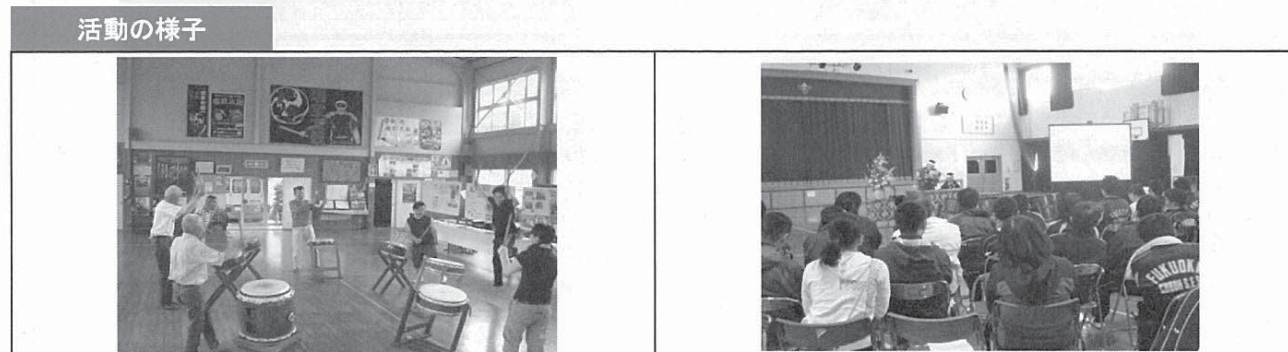
①活動内容	<p>アトランタパラリンピックマラソン競技の金メダリストである柳川春己氏が練習を行う際のガイドランナーとして、23年間にわたり活動を継続している。</p> <p>アトランタパラリンピックの2年前である平成6年から取組を開始し、毎週2回ずつの練習を共に行ったことで、柳川氏の実績獲得に大きく貢献した。平成17年からは週1回の練習を行っており、平成29年11月時点で伴走回数は1,230回に上る。</p> <p>練習時以外にも、平成10年の佐賀空港開港マラソン、平成26・27年のさが桜マラソンでガイドランナーを務めている。</p> <p>さらに、競技外においても県内の小・中学校や高等学校、公民館で柳川氏と共に教育講演会を行ってきたことにより、障害者の活動支援の周知・普及啓発に努めた。</p>
②活動体制	柳川氏と協議・調整しながら、マンツーマンで週1～2回の伴走を行っている。
③活動の効果等	<p><u>○柳川氏の実績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成8年 アトランタパラリンピックマラソン競技 金メダル受賞 ・平成12年 シドニーパラリンピックマラソン競技 6位入賞 <p><u>○県内における効果</u></p> <p>柳川氏と共に走る姿を新聞等で広く紹介されたことに加え、県内の小・中学校、高等学校、公民館等で柳川氏と共に「夢を持ち頑張り続けることの大切さ」「差別のない社会を目指して」等のテーマで教育講演会を行ってきたことにより、県内全域で障害者の活動支援についての周知及び普及の促進がなされた。</p>

活動の様子

	
さが桜マラソンでの伴走（平成26年）	小学校での教育講演会（平成28年）

プロフィール		活動分野
所在地	長崎県雲仙市	文化
団体名	障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓 (社会福祉法人南高愛隣会)	主な対象 知的障がい
活動名称	障がい者・夢大使活動、チャレンジ・ドンたいこ講習 粋活き太鼓教室等	団体の規模 (団体の場合のみ)
こんな活動です	①障がい者・夢大使活動 ②チャレンジ・ドンたいこ講習 ③粋活き太鼓教室 ④太鼓フィットネス ⑤瑞宝会クラブ活動	団員 16 名
連携している 団体等	保育所、小学校、中学校、特別支援学校、公民館、文化芸術活動 を行う団体、社会福祉法人、行政 (教育委員会、保健・福祉部局)	

活動の説明	
①活動内容	<p>①小中学校、特別支援学校、施設等への講話、演奏、ワークショップ。 ②障がい児・未就学児を対象とした講習。和太鼓を用いたリズム遊びや音のかけ合い、身体を動かすプログラム等を取り入れ、子どもの基礎体力と感性を伸ばす。 ③高齢者を対象としたリハビリ太鼓講習。認知症予防など心と身体の健康を促進する。 ④障がい者対象の講習。音楽とダンスと太鼓をミックスしたフィットネスで、健康づくりやストレス発散で楽しい時間を過ごす。 ⑤余暇活動としての趣味と交流を支援する会員制クラブ活動。</p> <p>・工夫している点…とにかく楽しく！わかりやすく！寄り添って！をモットーに取り組みます。</p>
②活動体制	<p>行政 (国、県、市) の教育委員会や生涯学習課、障害福祉課などとの連携を始め、教育関係では現場職員との関わりが広がって新たな出会いが生まれ、地域では瑞宝太鼓サポーター等の協力を得ながら地元企業や福祉施設、病院関係、高齢者施設との新規交流が始まっている。また、そのつながりの中から音楽関係者とも出会い、良き指導、新たな目標も頂いている。</p>
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の啓発啓蒙 障がい者・夢大使活動、瑞宝太鼓公演等を通じ、あらゆる世代の方に「あきらめなければできないことはないということを学んだ」、「価値観が大きく変わった」等の感想を頂いた。 障がい者へのキャリア教育 特別支援学校高等部等では、メンバーの人生や夢、実際の演奏を披露することによって、未来への夢や希望を与えている。 障がい者・保護者の希望 公演などを通して「ぜひ我が子も」と希望され、実際に入団 (雇用) に繋がったケースも多い。障がい児の保護者には特技や特性を活かした将来像を描き、希望を与えている。 障がい者の余暇活動の充実 クラブ参加者は活動を楽しみにしており、それが仕事の意欲となり生きる力につながっている。また、発表する機会があることで地域とつながりも生まれる。 障がいの枠を超えた交流・共感 全国各地にも実行委員会や応援団等多くの瑞宝太鼓サポーターができ、瑞宝太鼓メンバーを囲んで交流の輪と絆が広がり、インクルージョンな場面が広がりつつある 太鼓を通じた心身のリハビリ効果 子どもには集中力アップ、高齢者に関しては身体機能の効果が表れた。





プロフィール

所在地	大分県大分市	活動分野
団体名	学校法人後藤学園 楊志館高等学校 ボランティア部	学習
活動名称	楊志館高等学校ボランティア部	主な対象
こんな活動です	障害のある人との交流	聴覚障害
連携している団体等	特別支援学校、社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）	団体の規模（団体の場合のみ）
		部員数 15名

活動の説明

①活動内容	<p>【活動内容】</p> <p>①大分県障がい者スポーツ大会で卓球大会の運営補助（30年継続） ②手話スピーチコンテストで大分県聾学校と交流（25年継続）、点字本の寄贈 ③大分国際車いすマラソン大会でトイレ案内係、車いす乗換案内係、選手荷物案内係、弁当配布係の運営補助（30年継続） ④心身障がい者（児）秋の交歓会でのボランティア（20年継続） ⑤身体障害者施設で文化祭のボランティア（10年以上） ⑥全国高校生の手話によるスピーチコンテストへの応募と出場（20回）（30年継続）</p>
②活動体制	<p>【活動体制】 顧問1名、部員15名</p>
③活動の効果等	<p>【活動の効果】 「仕事を最後までやりきる責任感」「障害の有無に関わらず積極的に社会参加することの大切さ」「障害者に対する差別意識や先入観が悪いことの気づき」「自己中心的なことが薄れ、他人へ配慮ができる」等参加した生徒が実感できる。</p> <p>【地域全体への普及状況】 「ボランティアの楊志館高等学校」と誰もが認める存在となっている。地域の高齢者との交流も行われており、お互いが地域の活性化を図る努力をし、地域に密着した活動を続けている。</p>

活動の様子

	
大分県障がい者スポーツ大会ボランティア	大分県立聾学校との交流会

プロフィール



所在地	大分県大分市
氏名	河津 知子
活動名称	かわづ寺子屋『ふくろう』
こんな活動です	笑顔いっぱい、元気いっぱい 一人ひとりが「ありのまま」でいられる環境で活動
連携している 団体等	特別支援学校、聴覚障害センター

活動分野
学習
主な対象
聴覚障害児

活動の説明

①活動内容	<p>【活動のねらい】 『一人ひとりの個性を尊重し、楽しく遊べる環境をつくる』</p> <p>【活動内容】 絵本読み聞かせ ゲーム・スポーツ交流 場所：大分県立聾学校 体育館</p> <p>「絵本読み聞かせ」「スポーツ交流」「ピクニック」など季節に合わせた活動を企画し、楽しく手話で話しながら一日活動する。 「絵本読み聞かせ」はろう者の言語である『日本手話』で語り、子どもたちと一緒に絵本の世界を楽しむ。「スポーツ交流」ではスポーツの秋に、『ぶんごヤングラガーズ（大分県内の中学生によるラグビースクール）』と恒例のタグラグビーの交流をする。</p>
②活動体制	代表、スタッフ、会計 会員：聴覚障害児、保護者、兄弟（聴者）
③活動の効果等	<p>【活動の効果】 手話を中心としたコミュニケーションをとることで、子どもたちの一人ひとりが「ありのまま」でいられる。また、聞こえる親や兄弟が手話を習得し、ろう児とのやりとりには手話が大切であることへの理解が深まる。</p> <p>【地域全体への普及状況】 聾学校の通級担当者が、地域の学校に通っている難聴児に紹介したり、異動した教職員や退職した教職員に協力していただき、一緒に活動したりしている。</p>

活動の様子

	
手話による絵本読み聞かせ	ぶんごヤングラガーズとの交流



プロフィール

所在地	宮崎県串間市	活動分野	学習
団体名	串間市音声訳ボランティア「カナリヤ会」	主な対象	視覚障害者
活動名称	視覚障害者への朗読活動	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 12 名
こんな活動です	市報を声で伝え！26年で300回超を達成！		
連携している団体等	小学校、公民館、図書館、病院・保健所、行政（教育委員会、保健・福祉部局）		

活動の説明

① 活動内容	<p>「カナリヤ会」では、毎月、視覚障害者向けに市の広報紙を読み上げて録音するカセットテープ「声のお便り」を届ける活動を行っています。</p> <p>現在、市内の利用者10名に直接配送するほか、市立図書館や福祉施設など12か所に届けています。</p> <p>平成3年（1991年）7月の第1号の発行から平成29年7月で26年が経過し、「声のお便り」として312回を達成し、今後の活動に意欲を見せています。</p> <p>また、朗読ボランティアのメンバーは、「やわらかい話を楽しみにしている視覚障害者の方々も多い」ことから、広報の内容だけでなく季節の話題や新聞記事も一緒にテープに収める工夫をしています。</p> <p>これからも長く活動を続けたいと、ボランティアメンバーの募集も行っています。</p>
② 活動体制	<p>活動は、月3回、録音を行うため市保健福祉センターにメンバーが集まって収録を行っています。活動のための経費は、市社会福祉協議会の助成金（3万円）により運営しています。</p>
③ 活動の効果等	<p>目の不自由な方に大切な情報をしっかりと伝えることをとおして、視覚障害者の方々が過ごしやすい環境づくりにつながっています。また、メンバーは各種研修に積極的に参加し、今後さらに音声訳の技術向上を目指す意欲が高まっています。</p>

活動の様子

	
読み合わせの様子	録音テープへの収録の様子